

# 庄内町 地震ハザードマップ

## 揺れやすさマップ

庄内町 建設課 〒999-6601 庄内町狩川字大釜22 TEL: 56-3384 FAX: 56-3255

庄内町では、今後発生する可能性のある地震について住民の皆様に関心と知識を持っていただき、日頃からの備えをしていただくために、「地震ハザードマップ」を作成いたしました。揺れやすさマップとは、想定した地震の震源やマグニチュード(規模)、地盤状況などから震度を予測したものです。ご自宅の周辺や普段からよく行かれるところ、よく通られるところなどについて、想定される揺れの大きさを確認してみてください。また、地震に備えて避難所までの道路を確認してみたり、地震が発生した時の対応などをご家族や周囲の方々と話し合ってみてください。

### 揺れやすさマップとは

### 想定した地震

#### 庄内平野東縁断層帯

庄内平野東縁断層帯は、庄内平野と出羽丘陵の境界に位置する東側隆起の活断層帯で、北部から最上川以北では並走する数本の断層からなり、最上川以南では山地と平野の境界部に沿う一帯の断層からなります。長さは、約38kmで、ほぼ南北方向に延びており、飽海郡遊佐町から酒田市東部、庄内町狩川を経て鶴岡市(旧藤島町)に至る断層帯です。最新の活動時期は、約3千年前以後～18世紀末以前の間であると考えられており、全体が同時に活動する場合には、マグニチュード7.5の規模の地震が発生すると考えられています。

#### 震度とマグニチュード

地震のエネルギーの大きさを「マグニチュード」と呼び、地震の規模を示すときに用いられます。これに対して、ある場所での揺れの大きさを「震度」と呼びます。マグニチュードが大きな地震でも、震源が遠かったり深かったりすると、震度が小さくなります。マグニチュードが1増えると、地震のエネルギーは約32倍になります。したがって、マグニチュード8の震源は、マグニチュード7の地震の約32倍のエネルギーをもった地震であるといえます。



※山形県地震被害想定調査(平成18年3月)より転載

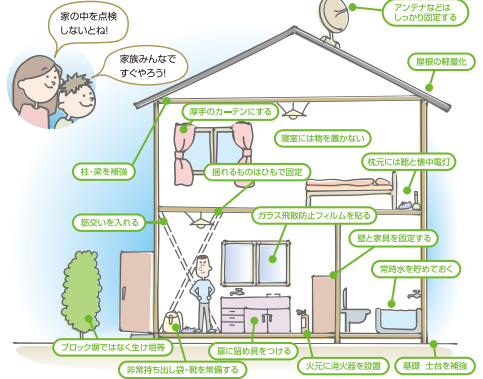


### 家の中、周りの安全性の向上

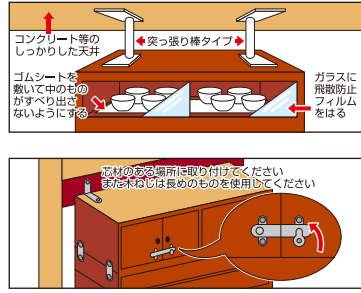
#### 家の中の安全性の向上を図る

阪神・淡路大震災におけるケガをした人の多くは、家具、本棚、OA機器等の家財の転倒、落下が原因であったということが分かっています。地震による強い揺れから身を守るためには家財の固定も重要な備えとなります。

●被害を少なくするために、私達にも今できることがあります！



#### ●家具の固定をしましょう



### 耐震診断・改修の重要性

#### 住宅の耐震性について

一般に、地震が発生した場合の建築物の全壊率は古い建築物ほど高くなりますが、木造住宅ではその傾向が特に目立ちます。古い耐震基準の時期(昭和56年以前)に建てられた家や、壁が少い家などは耐震性が低くなっていますので、心当たりのある方は専門家による耐震診断を受けてください。耐震対策の基本として「わが家の耐震性向上」は欠かせません。耐震性の向上についてさまざまな支援策がありますので、ぜひご利用ください。

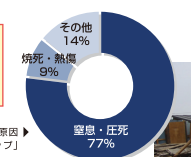
#### ●倒壊の段階

全壊	半壊	一部損壊	無被害
住宅の全体、もしくは一部の幅が全て倒壊している。居住のための基本的な機能を失った状態を指します。	外壁や柱の傾斜が1/20以上である。居住のための基本的な機能を失った状態を指します。	壁面の亀裂が生じている。外装の一部が剥離している状態を指します。	被害が生じていない状態を指します。

#### ●地震による死亡・ケガの原因は？

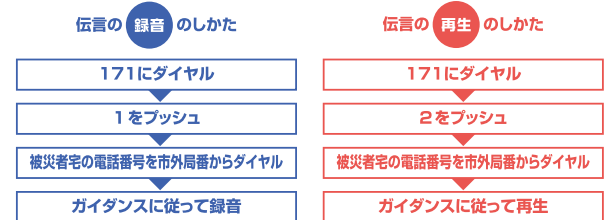
阪神・淡路大震災での死者のうちの約8割は地震直後の家具、建物による圧死といわれています。

皆さんの生命や財産を守るためには、住宅・建築物の耐震化が極めて重要です。



### 災害伝言ダイヤルのかけかた

無事避難できたら、自分は安全であることを伝言しましょう。



### 震度と揺れによる周囲の状況

4.5		多くの人が、身の安全を図ろうとする。棚に入った食器や本などが落ちることがある。家具が動くことがある。耐震性の低い木造住宅では、壁や柱が破損するものがある。
5.0		多くの人が行動に支障を感じる。タンスなどの家具が倒れることがある。変形でドアが開かなくなったり、戸が外れることがある。耐震性の低い木造住宅では、壁や柱がかなり破損したり、傾くものがある。
5.5		立っていることが困難になる。重い家具の多くが移動したり倒れたりする。家屋の変形でドアが開かなくなることが多い。耐震性の低い木造住宅では、傾くものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱が破損するものがある。
6.0		立っていることができず、はわないと動くことができない。固定していない家具のほとんどが移動・転倒する。耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。耐震性の高い住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある。
6.5		揺れにほんろうされ、自分の意思で行動できない。ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。耐震性の高い住宅でも、傾いたり大きく破損するものがある。
7		

### 地震発生時の心構え／行動のポイント

経過時間	ポイント
地震発生	最初の大きな揺れは1分間 ●まず、自分の身を守る 机の下などへ。慌てて外へ飛び出さない。 ●脱出口を確認する ドア、窓を開ける。
1~2分	揺れがおさまったらまず火の始末 ●火元を確認する 火が出たら落ちて初期消火。 ●家族の安全を確認する 倒れた家具の下敷きなどでケガをしていないか。 ●靴をはく 室内に散乱したガラスの破片などから足を守る。
3分	隣近所の安全確認 ●隣近所に声をかける けがけが・行方不明者の確認、救出・救護。 ●余震に注意
5分	ラジオなどで正しい情報を入手 ●正しい情報をつかむ ラジオやテレビの情報を聞く。 ●電話はなるべく使わない 安否確認は「災害用伝言ダイヤル171」で。 ●家屋倒壊などの危険があれば避難 避難をするときはガス栓をしめ、ブレーカーを落とす。
数時間	協力して消火、救出・救護活動 ●生活必需品は備蓄でまかなう ●壊れた家には入らない 無理をして、二次災害を起こしてはいけない。 ●災害情報・被害情報の収集
3日くらい	

### 避難場所一覧

No.	施設名	電話番号	住所
1	大中島自然ふれあい館	59-2225	立谷沢字大谷1-3
2	立谷沢小学校	29-2123	肝煎字福地山本72-1
3	立谷沢公民館	59-2211	肝煎字福地山本53-1
4	立谷沢町民体育館	59-2835	肝煎字福地山本65
5	克雪管理センター	59-2131	肝煎字家の前14-1
6	清川小学校	57-2802	清川字花崎1-1
7	清川公民館	57-2211	清川字花崎1-2
8	清川保育園	57-2665	清川字花崎57-2
9	狩川小学校	56-2525	狩川字松葉5-1
10	狩川幼稚園	56-2207	狩川字松葉20-1
11	立川中学校	56-2075	狩川字松葉1-1
12	狩川保育園	56-2436	狩川字大釜136
13	立川中学校セミナーハウス	56-2893	狩川字大釜10-1
14	庄内町コミュニティセンター	56-3308	狩川字大釜11-1
15	庄内町コミュニティ防災センター	56-2898	狩川字橋下97-1
16	庄内町老人福祉センター	56-3373	狩川字大釜23-1
17	庄内町体育センター	56-3923	狩川字大釜23-1
18	旧南原児童館(体育館)	56-2646	三ヶ沢字中里64
19	庄内町農林漁業体験実習館	56-3910	狩川字山146
20	風車村センター	56-3350	狩川字山444-9
21	余目第四小学校	44-2103	主殿新田字赤洲21-1
22	余目第四公民館	44-2162	南野字十八軒21-1
23	余目第四幼稚園	44-2001	主殿新田字赤洲21-1
24	余目第三小学校	43-2619	廿六木字三百地6-1
25	余目第三公民館	42-0317	余目字藤原野3-1
26	余目第三幼稚園	43-2717	廿六木字三百地6-1
27	余目第二小学校	43-2618	弘田字村東68
28	余目第二公民館	42-2306	弘田字サビ40
29	余目第二幼稚園	43-3009	余目字矢口35-1
30	余目第一小学校	43-2625	余目字南田105-1
31	余目第一公民館	42-2019	余目字南田94-1
32	余目第一幼稚園	43-2025	高田字表北裏8
33	余目中学校	43-2044	余目字藤田30
34	余目保育園	43-2308	余目字町244
35	庄内町武道館	42-2648	余目字猿田87
36	庄内町総合体育館	43-3347	余目字大塚5-1
37	庄内町文化創造館	45-1433	余目字仲谷地280
38	JA庄内たがわ立川基幹支所	56-2133	狩川字小野里54
39	庄内町商工会立川支所	56-2219	狩川字阿古屋67
40	庄内ゴルフ倶楽部	56-3322	狩川字小堤8-21

### 凡例

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
山形県第一次緊急輸送道路				
山形県第二次緊急輸送道路				
庄内町緊急輸送道路				
40 ~ 1 避難場所				